

1-2 公共交通ネットワーク・サービスの現状

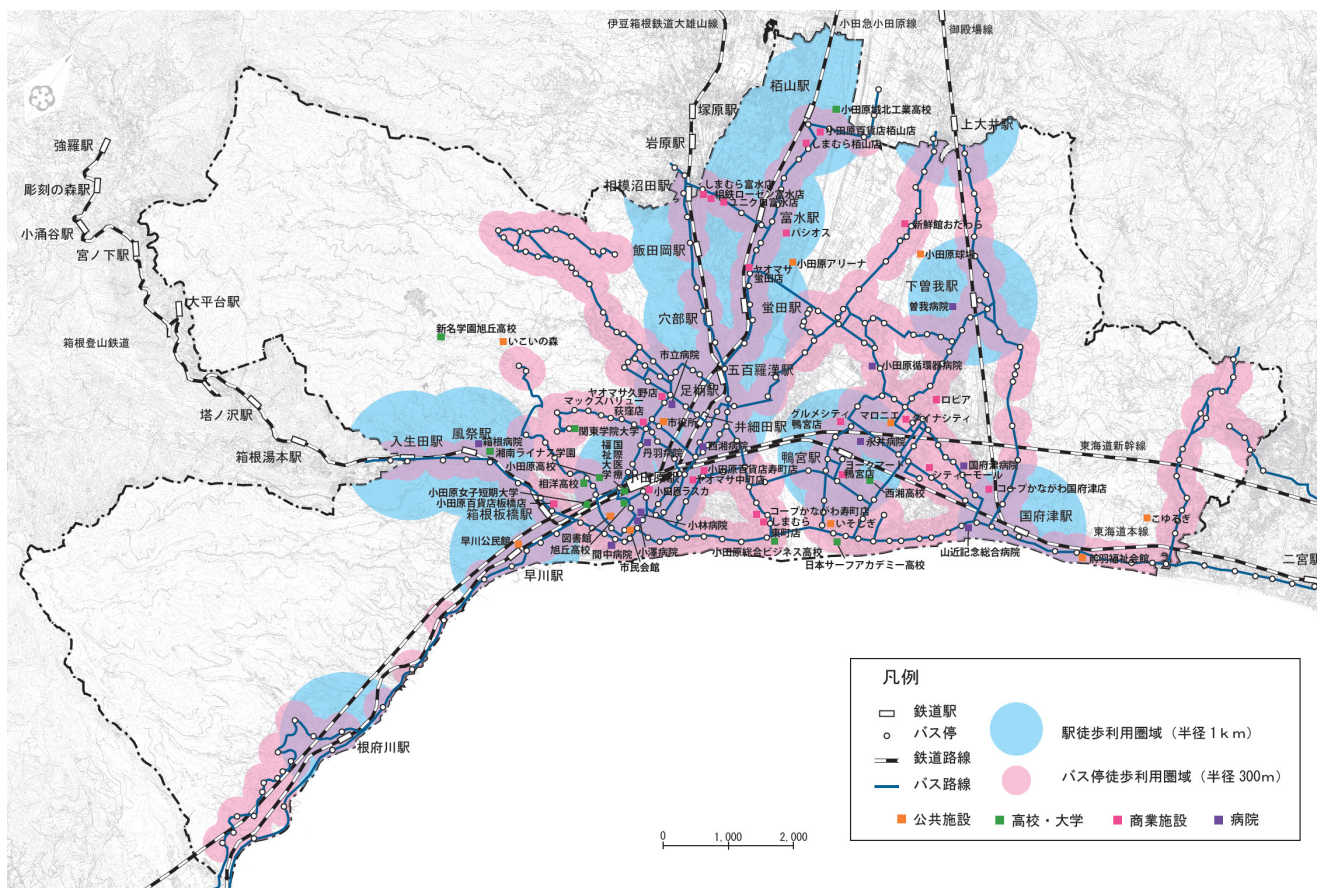
(1) 公共交通ネットワーク

小田原市内の鉄道は、新幹線駅である小田原駅を中心に、JR 東海道線、小田急小田原線、伊豆箱根鉄道、箱根登山鉄道が放射状に配置されているほか、JR 御殿場線が国府津駅と下曽我駅を結んでいる。

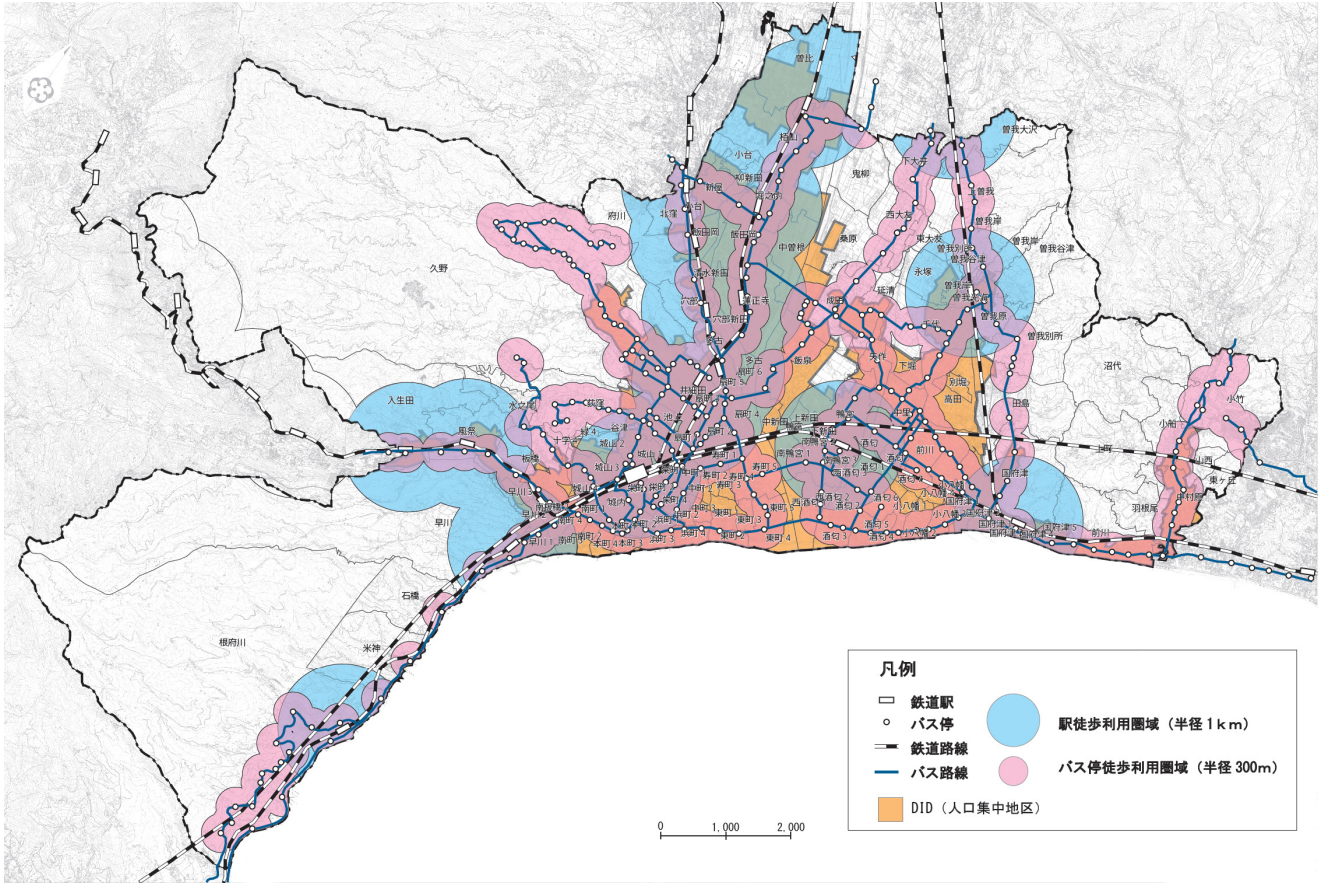
路線バスは、鉄道網を補完する形で運行しており、多くの系統が、小田原駅など主要な鉄道駅を起終点としている。人口集中地区内の一部のエリア（飯泉、高田、桑原等）でも鉄道・バスサービス圏域外が存在している。

市の南西部や東部は丘陵地帯で、自転車が利用し難い地形であるが、中央部及び南部は比較的平坦で、自転車が利用し易い環境となっている。駐輪場が設置されている鉄道駅から自転車サービス圏域（半径3km）を想定すると、山間部等を除くと市全域を概ねカバーしている。

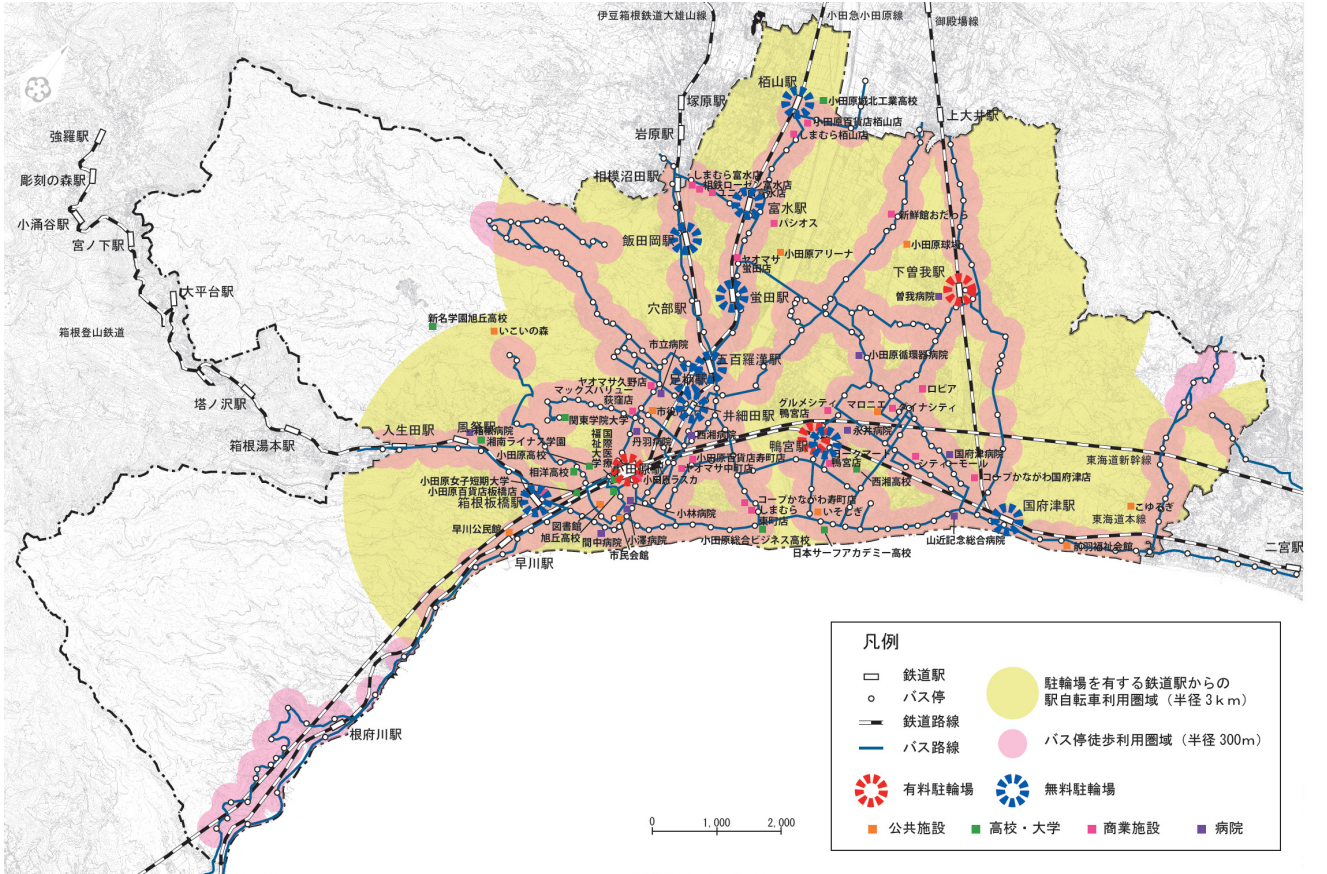
■鉄道・バス徒歩サービス圏域図



■鉄道・バス徒歩サービス圏域×人口集中地区（平成22年国勢調査）



■鉄道自転車サービス圏域+バス徒歩サービス圏域



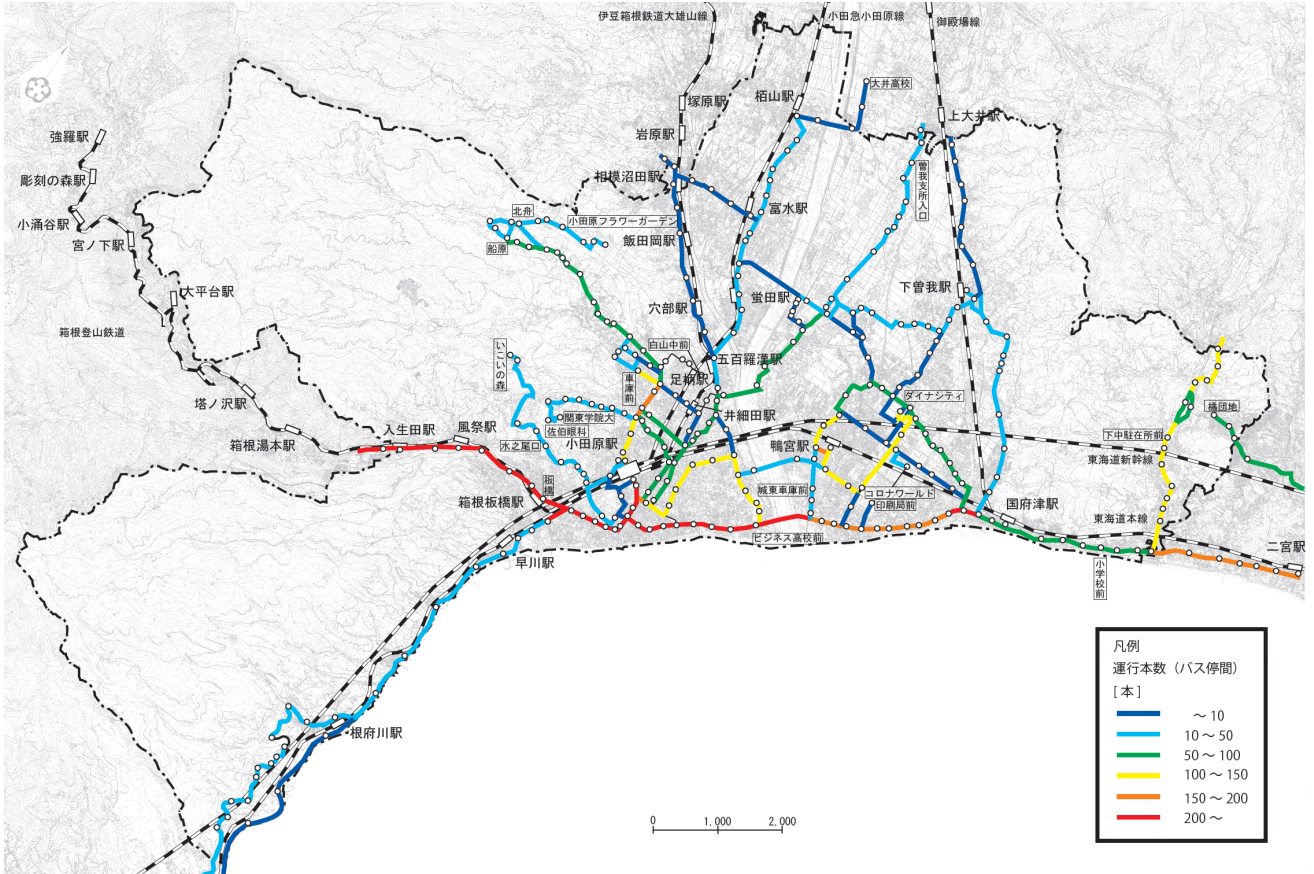
(2) 運行本数

平日の1日当り運行本数は、小田原駅東口～箱根方面や、国道1号を運行する系統、市役所や市立病院、ダイナシティへ連絡する系統、及び押切～二宮駅方面で150本/日以上と多く、鉄道と並行する区間等で少なくなっている。

土曜日は、小田原駅～箱根方面や小田原駅～ビジネス高校前～国府津駅、鴨宮駅～ダイナシティ、押切～二宮駅方面で100本/日以上と多く、大雄山線との並行路線等で運行していない区間もあり、日曜日と同様の傾向となっている。

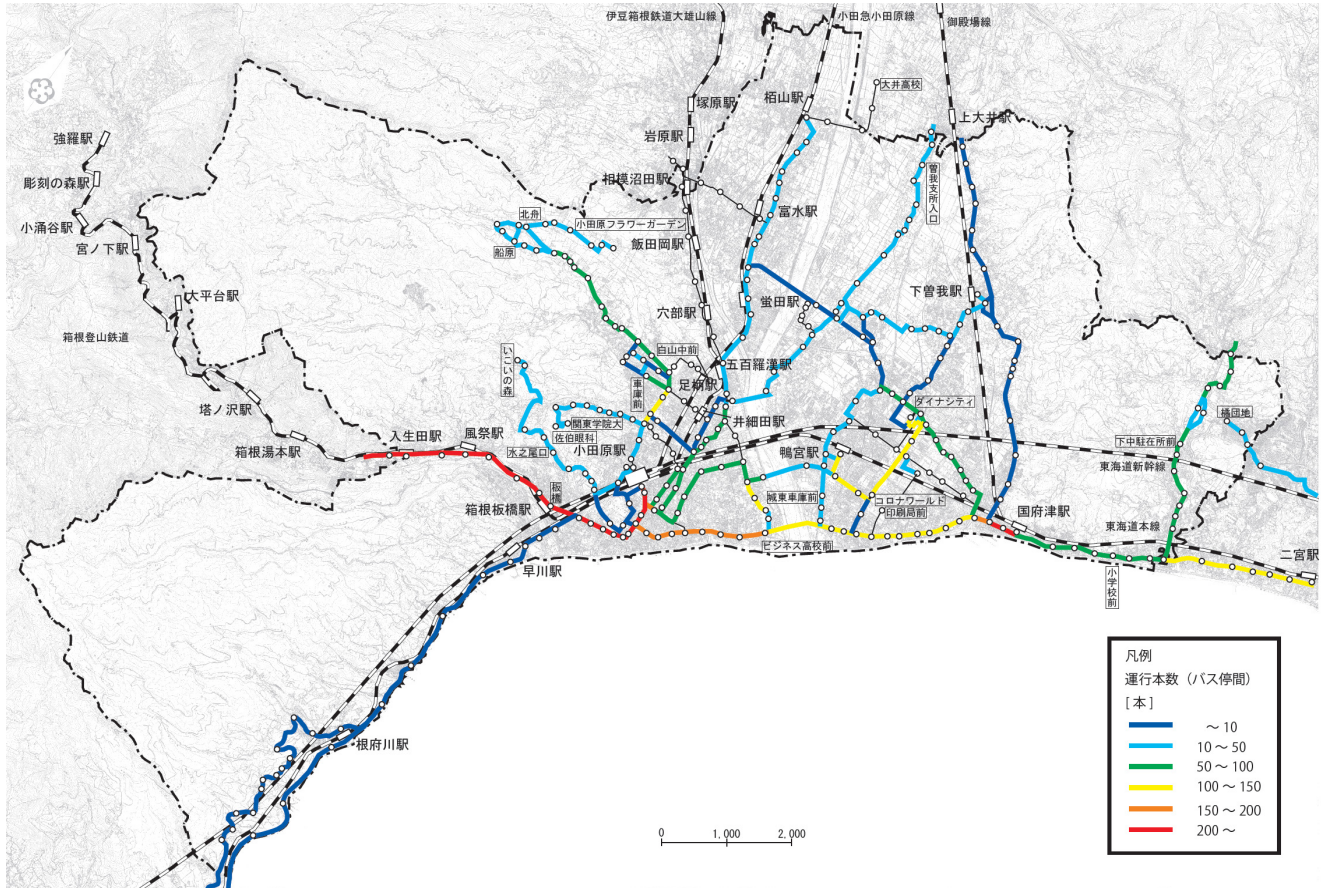
■ 1日当たり運行本数（平日）

※平成24年4月現在



■ 1日あたり運行本数（土曜日）

※平成 24 年 4 月現在



■ 1日あたり運行本数（日曜日）

※平成 24 年 4 月現在

